

## 作業プロセス、スケジュール（案）

### 1. 今年度のスケジュール（案）

本年度は3回の重要海域抽出検討会を開催する。主な作業の手順および計3回の検討会における検討事項は下記のスケジュールフロー（下図）の通りである。

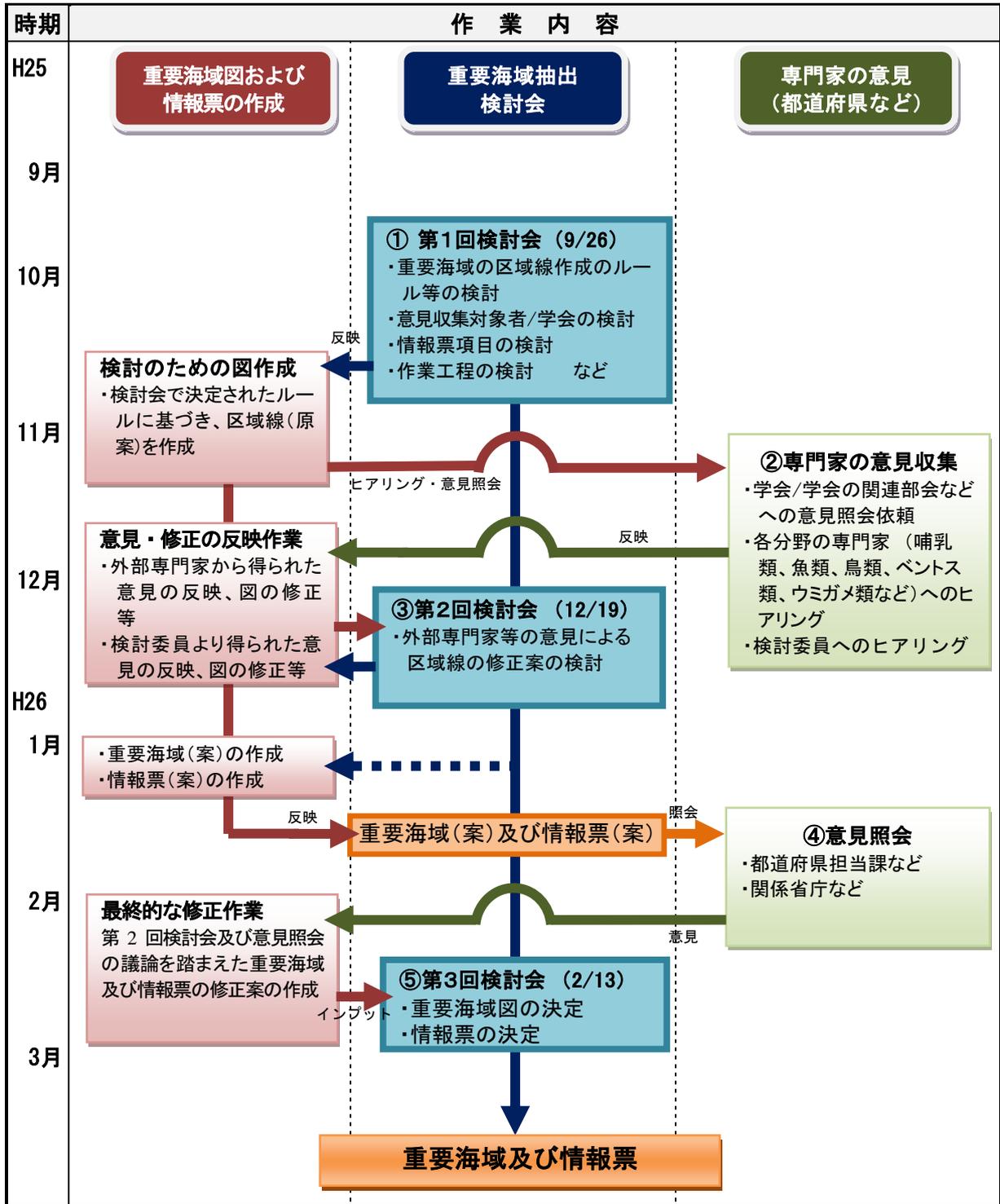


図 平成 25 年度の作業スケジュール（案）

## 2. 第1回検討会後の作業について

### (1) 「区域線作成のルール」の決定

重要海域抽出検討会委員全員の合意を得た「区域線作成のルール」を作成した（参考資料1）。

### (2) 専門家の意見収集

区域線作成のルールに基づき区域線（原案）を作成し、これに対して外部専門家等からの修正意見を収集した（資料2）。

### (3) 「専門家から収集した意見の検討会における取扱いにかかる詳細ルール」の決定

第1回検討会で検討が必要とされた、専門家からの修正意見の取り扱いについて、メールなどを通じて、委員全員の合意を得て「専門家から収集した意見の検討会における取扱いにかかる詳細ルール」（以下、「詳細ルール」）を決定した（参考資料2）。

## 3. 第2回検討会における検討と今後のプロセスについて

### (1) 第2回検討会における検討

今回の第2回検討会では、区域線（原案）に対する専門家の意見（資料3-1-1、3-2-1、3-3-1）をとりまとめた区域線の修正案の取り扱いについてご検討をいただきたい。

### (2) 今後のプロセス

今後、第2回検討会におけるご意見に基づいて重要海域（案）及び情報票（案）をとりまとめ、さらに都道府県等の意見照会を行う。その結果を第3回検討会において検討のうえ重要海域図及び情報票を決定する。

平成25年

12月19日 第2回重要海域抽出検討会 区域線の修正案の検討

平成26年

1月中旬 重要海域（案）と情報票（案）のとりまとめ

1月下旬 都道府県担当課、関係省庁の意見照会

2月上旬 都道府県等の意見照会の結果の反映

2月13日 第3回重要海域抽出検討会（重要海域図及び情報票の決定）